

## 令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（芸北会場）

質 問	回 答
<p>11月終わりの日曜日のこと、自宅（八幡）と裏山との間で男性が用を足しており大変驚いた。よく考えてみると、日曜日はこの辺りのお店も開いておらず、県道沿いにはトイレの標識もないため、観光等で初めて訪れた人はトイレの場所がわからないと思う。この地域でのトイレの整備や標識の設置等が必要ではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、トイレの場所がわかるように標識等が大きく出来ればよいと思うが、八幡地域一帯は西中国山地国定公園内であり、標識等の設置には規制がかかる。どのような意匠が必要かということも含めて検討する必要がある。冬場のトイレについては、こういった補助事業があるか調査し、設置に当たり有利な補助事業を活用できるよう検討しているところである。町内のトイレ、運動施設等についても、バリアフリー化の必要性も含めて、観光協会の方で調査してもらおうようにしている。また、町HP上に施設場所の掲載をするようにしたい。</p>
<p>本庁の横にまちづくりセンターが新設されたが、芸北地域においては芸北文化ホールがメイン施設である。この施設のホールには椅子が自動で出てくるようになってきているが、約2年前から壊れている。コロナ禍において、近年は大きなイベントが開催されていないため、蔑ろになってしまっている気もするが、どこまで話が進んでいるのか。費用対効果を考えた場合に後回しになっているのか、修理しなくても良いと思われているのか。また、或る人からは修理が難しければ、出しばなしにしておくとの意見もあった。</p>	<p>修繕については、予算の要望として各課から様々な声がある。北広島町内には施設が多く、建設から年数の経過により老朽化が著しく、修繕の要望が多数存在する。その中でも緊急性または必要性を要するものについて優先順位を付けて対応している状況である。当該施設の椅子の件も話は伺っているが、いつ頃修繕するかという予定はないが、他施設の修繕の状況を見ながら、検討していきたい。</p>
<p>山道の整備に係る支援措置について、現在は森林からの収入は少なく、個人の努力のみでは限界に達している。森林は生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場等多面的な機能を有している。近年、芸北地域では急速に高齢化が進んでおり、山道の維持管理活動をシルバー人材センターからの人材派遣により行っている。しかしながら、年金生活の方が多く賃金の支払いが厳しい状況である。このままでは山道の維持管理が出来なくなることは明白で、荒廃が進んでいき、山と里のつながりが絶たれる。これらのことから、公的支援としてどのようなものがあるか、またはどのようなことができるか。</p>	<p>林道、または作業道に関して、北広島町では地域施工支援事業という制度がある。事業費40万円までにつき、最大20万円までの補助制度であり、道の補修等について活用していただきたい。ご意見のとおり、林業において森林からの収入は少なく、厳しい状況が続いていることも認識しているが、北広島町の約80%は森林であり、資源の好循環に向けて様々な支援を考えていきたい。ただ、町道だけでも860kmあり、これに加えて農道、林道と全体でかなりの距離であり、なかなか要望のとおりにはいかないという現実もご承知いただきたい。</p>

## 令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（芸北会場）

質 問	回 答
<p>広島県でまだやっていないこととして、北広島町独自のブランド、ものづくりを考えた場合、国は米農家に対しては転作を促し、畜産農家に対しては農耕飼料を国産でということだが、これを100%北広島町で取れたエサを家畜に与え、1年半育て、道の駅等に出荷するのはどうか。まだそういう自治体も企業もないため、取り組んでみると良いのではないか。自身ができることとして、最初から10～20頭というのは厳しいが、数頭であれば無償でも協力したい。</p>	<p>現在、輸入飼料は高騰しており、厳しい状況が続いていると認識しているため、国産でこれを賄うことができれば最良であると思う。米では飼料米で循環することを国は考えているが、全てを賄うということにはなっていない。栄養面から見ても難しいのではないかと考える。北広島町内でも飼料米による循環に取り組んでおられる方もいるが、実際には輸入飼料に頼っているというのが現実である。飼料米でも単価によりある程度保障される制度になっていけば取り組みやすいが、そうでなければ厳しいと思う。ご意見のとおり、それらを自給できる形となれば理想であるため、できるだけ実現に向けて努力していく。</p>
<p>長期総合計画策定に係る意見募集(パブリックコメント)について、高齢者の方はHPを見る機会がなかったり、書き込み等ができなかったりする可能性があるが、幅広く意見を募集するのであればHP以外のツールがあっても良いのではないか。</p> <p>農業について、自身は仕事をしながら3丁程米作りをしているが、住まいは限界集落で20軒程度しかなく、高齢化により農業ができない人が多い。田を荒廃させるわけにはいかないと願ひされ、自身が米作りに協力しているが、本業もあり限界を感じている。将来的に、地域の田を守っていくためにどういう方向を目指していけばよいのか。</p>	<p>この計画を策定するにあたって、令和2年度に町民1,000人に対し年代別、地域別、各地域の人口比に応じてアンケート調査を実施した。また、これとは別に各種団体(4地域別、移住者、子育て世代、若者世代)に対し、インタビュー型ワークショップによる意見調査も実施した。さらにまちづくり総合委員会を開催し、その都度意見を収集した。パブリックコメントについては、本計画は100ページ以上あるため各家庭に配付することは難しく、本庁及び各支所にてお願いをしたい。</p> <p>全国的にも言えるが、農業従事者の高齢化が進んでおり、農事組合法人があるところでも担い手の確保が厳しい状況で様々な課題がある。いずれにしても農業を営む若者を見つけ育成していかなければならない。芸北地域においても農事組合法人の有無は地域によって差があるが、規模拡大を図り年間雇用ができる環境で若者が従業員として働くというような仕組みづくりが必要であると考え。直ぐにとはいかないが、100ha規模で経営していく形を目指していかなければならず、まだ完全に出来上がっていないがスマート農業のように省力化できる方法も徐々に出てきている。水の管理、草刈りにおいても負担が少なく、安価での作業が可能になることで、若者に可能性を感じてもらえるようなビジネスモデルを創っていく必要がある。</p>
<p>芸北小学校の隣にある、つくし保育園の今後の利用予定があれば教えてほしい。</p>	<p>つくし保育園の活用について、現在活用計画はない。しかしながら、建物自体も立地条件も良いため、何らかの形で活用を模索している。ただし、小学校に隣接しているため、いくらか制限する必要があるが、国や広島県の情報も集めながら、また町民の皆さまの声も聴きながら、活用方法を検討していきたい。また、北広島町内には使われていない施設が多数存在しており、これらも含めて民間のアイデアも取り入れながら検討を重ねていく。</p>

## 令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（芸北会場）

質 問	回 答
<p>高校に通学するのにバスを利用しているのだが、朝の時間帯は小・中・高校生が乗車してくるため満員となる。数か月前はコロナ対策として2台体制となっていたため良かったが、現在は元に戻り、車内は非常に密度が高い。高校生から見ると小学生に怪我をさせてはいけないという不安があり、できればその時間帯のみ2台体制としてほしい。</p>	<p>バスの運行については、ピークを考えて運行している。ただし、満車で立った状態で危険ということであれば、何らかの措置を考えなければならないが、実際にはバス運行公共交通事業だけで約3億円の事業費が発生している。多額の費用を費やしており、効率的な運行を検討しているところではあるが、実態を含めて調査し、教育委員会とも連携を取りながら安全かつ効率的な運行を考えていきたい。</p>
<p>FTTH化事業について、手続きがややこしくテレビやインターネット、電話など様々な問題が絡む。事業の必要性は分かるが、(株)ちゅピCOMに丸投げしているように感じる。実際に1時間以上説明を聞いてもよくわからない。何が問題かという、インターネットをされる方は良いかもしれないが、一人暮らしの高齢者には不安要素もあり、理解が難しい。近年は詐欺等の事件も多発しており、一人で説明を聞くのは躊躇されるという人もいるため、区長等に話を通し、複数人で話し合う機会を設ける等、行政からの指導が必要ではないだろうか。</p> <p>また、先日送付された文書を見ると、「何ら手続きすることなく…」と記載があるため、何もせずに良いと勘違いされている人もいます。</p>	<p>ご意見のとおり、行政区長、地域の民生委員と協力しながら、行政と(株)ちゅピCOMが連携を取り進めていかなければならないと思っている。これまでいくつかの地域でも行っているが、ご要望いただければ地域の常会等にお伺いし、説明をさせていただく。</p> <p>文書について、突然送られてきたという印象を与えてはならないため、今後はダイレクトメールを送付した地域に対し、きたひろネットの音声告知放送にて通知を送付した旨をお知らせしようと思っている。</p> <p>サービスの内容は多数あるため、分かりにくい点があると思う。どういった希望があるかということはある程度想定しながら、例えば、「一人暮らしのご家庭にはこういったサービスの提案をする」等、もう少し分かりやすくなるような説明を行っていく。</p>

## 令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（芸北会場）

質 問	回 答
<p>大暮養殖場に勤務している、先般、芸北中学校の技術室を活用し経営を視野に入れていたが、最終的に断念した。理由としては、北広島町の財産であるということからいろいろなハードルがあり、その時に言われたのは公平性を保たなければならないということであった。自身の考えから言うと、教育の場である遺産をずっとそのまま放置しておくのはいかがなものかという思いから、地域貢献も考えて活用しようと考えていたが、公平性というハードルがあったため、断念せざるを得なかった。その地域にあるものをその地域の者が使っていくというようにそこには地域性というものがあると思うが、支所の窓口を作っていくなどの大きな枠組みで見えていくようにしなければ、あのような施設は永久に使えなくなってしまおうと思う。新たな枠組みを作らなければ、公平性の前で地域性が薄れていってしまうのではないか。</p> <p>現在、夏のアクティビティを検討しているが、聖湖で新しいものを考えており、来年辺りから徐々に形になっていくと思うが、活力ある地域を見て、応援していただきたい。</p>	<p>学校施設の技術室の件については、後から話を聞いたが、公平性を大切にしなければならないという面もあるが、地域の活性化やどのような地域貢献が図れるかということも併せて考えていかなければならないと感じている。そのためには予めルール作りをしておき、今後は可能な限りそのようなことがないようにしていきたい。</p> <p>夏のアクティビティについては、北広島町の豊かな自然の中で楽しんでもらえるよう、観光事業として応援していきたいと思っているため、共に協力していきたい。</p>

## 令和3年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（芸北会場）

質 問	回 答
<p>私の集落では周りの家が無くなったり、一人暮らしの方が増加していく中で、自助努力が重要になってきていると感じているが、この先どうなっていくのか、親という立場でも不安を感じている。地域として力を合わせていく必要があるが、行政として現状をどう受け止め、今後についてどのように考えられているか。</p> <p>また、関西の学校法人に対し自身が栽培する米を年間でもかなりの量を納めているが、そこでは入札制度があり、米づくりの過程を説明し、試食をしてもらう。北広島町においても地元の学校等で自身が栽培している米や野菜を食べていただけるのか、入札等があるのか。</p>	<p>定住施策の観点から、本町では空き家バンク制度を設けており、支援員やアドバイザーを配置している。芸北支所にも集落支援員を配置しているので、そういった方と地域とが一体となって取り組んでいく必要がある。この度のFTTH化事業、福祉事業、定住対策(UIターン)、農業支援等、総合的な施策を以って若者等の移住者の推進を図っていきたい。ただそれには地域のコミュニティが大切であり、地域と一体になって移住者の受け入れを進めていきたい。</p> <p>北広島町の学校給食にはいろいろなパターンがある。学校の中に調理場があるところもあり、共同調理場でかなりの数を作っているところもある。ご質問いただいたように、地元産の米や野菜を購入しているところもあるが、それが全てではない。したがって、町内産が全て行き渡るような仕組みを考えていきたいと思う。</p> <p>また、給食の原材料は鮮度やある程度の量が揃わなければならない。広島県には学校給食会というのがあり、そこから資材を送ってもらうシステムがあるがこれらも含めて検討していきたい。</p>